

令和7年度まち・ゆめ基本条例 市民アンケート 集計結果

R7.8.1作成

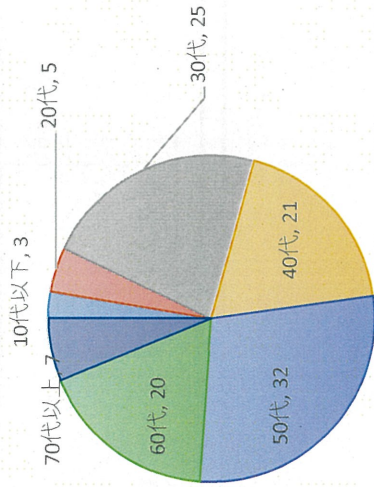
○概要

- (1) 調査方法：市公式ホームページ上でアンケートを実施。アンケート実施については、市広報誌、SNSで協力依頼を実施。
- (2) 調査期間：令和7年3月3日～6月30日
- (3) 調査対象：市ホームページ閲覧者及び市公式SNS登録者
- (4) 回答数：113件

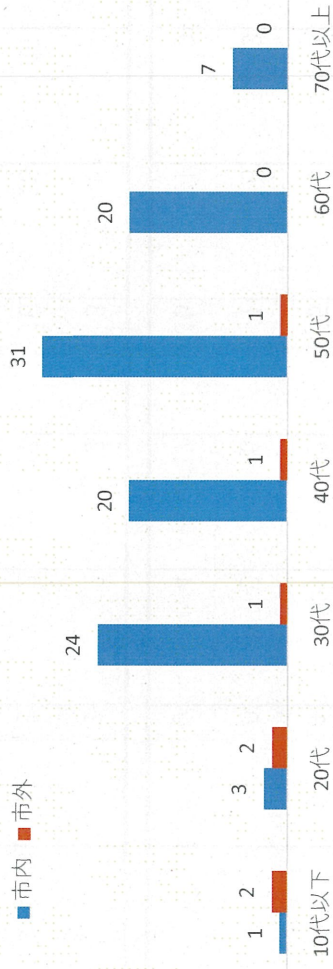
○集計結果

		10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
年代									
回答者数		3	5	25	21	32	20	7	113
問1 居住地	市内	1	3	24	20	31	20	7	106
	市外	2	2	1	1	1	0	0	7
問2 条例の存在	言葉は聞いたことがある	1	1	2	5	5	8	1	23
	内容まで知っている	0	0	6	1	6	3	5	21
	知らない	2	4	17	15	21	9	1	69
問3 市の考える方針や事業の計画段階で市民の意見等が反映される機会に参加したいか	強く思う	1	2	3	3	5	1	3	18
	思う	1	2	17	16	18	17	3	74
	思わない	1	1	5	2	9	2	1	21

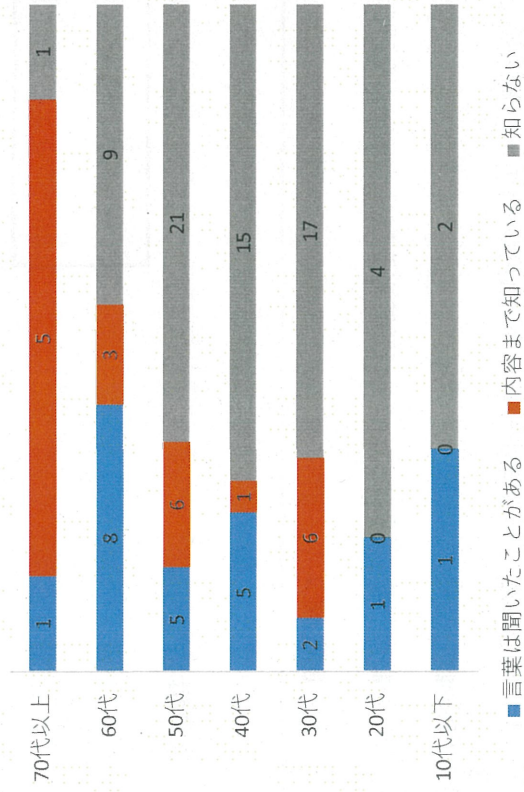
回答者の年代割



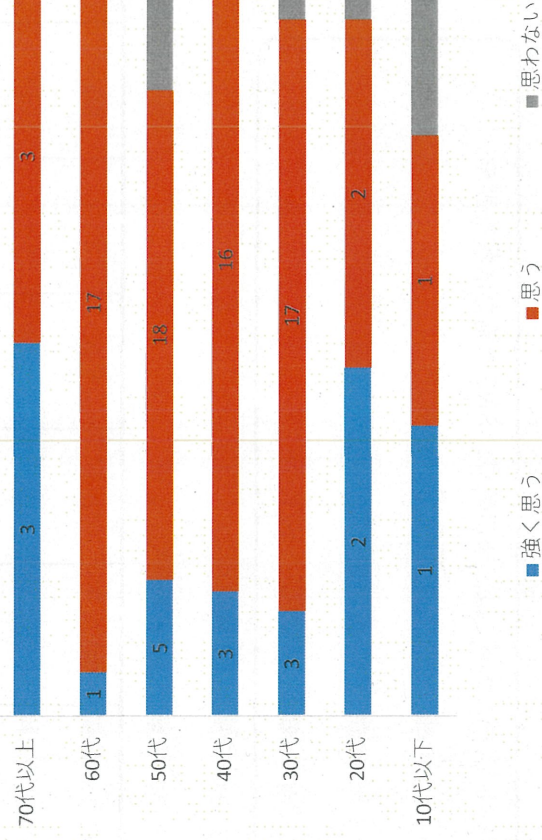
居住地について



認知度割合



意見等が反映される機会への参加について



☆市民の意見を反映させるには、こういった機会が良いと思いますか。

- テーマごとネットを使っての意見収集
- 自分が関係する事しかわからないので、皆の意見を聞く必要を感じない。関わる人達で考えて頂いたらありがたい。
- 市民の意見交流会
- 定期的に懇談会を開催して、現状での計画について話をしたり、改善点があれば市民に教えてもらうなどすれば良いのではないかと思います。また市長がインスタライブをして三次の現状報告をしても楽しそうだと考えました。
- インターネットで意見を寄せる。
- このようなアンケート様式が忙しい世代には助かります。
- 平日は仕事なので働くひとは議論をされているみたいですが参加できません。ウェブ上で皆が意見を出せる場を作って、それを広報などで大きくとりあげ周知すると良いと思う。
- アンケート用紙を送ってほしい。
- 対面で市民に意見を求める機会を持つのも大事だが、手軽にネット上で意見を書きこめる場があれば、若い世代の意見が取り込めると思う。
- 会合への参加必須ではなく、オンラインや WEB アンケート方式での意見反映がてきようにしてほしい。
- LINE などネットを使って意見を募集する
- 説明会などで意見を伝えやすい場をつくる
- 自ら取り組むこと。意見だけでは反映されない。取り組んでいることを、行政が取り上げる
こと。
- 集会で意見を言うのは勇気があるし、カンタンなアンケート等が好ましいと思います。
高齢者はウェブアンケートは難しいので、紙面が良いけど、若い方はウェブが簡単で良いと
思います。
- 子育て世代にとっては、託児ありの会議や子どもも参加して楽しめるまちづくりのイベント

は、参加しやすい。参加はできても意見を言うのはハードルが高く、挙手にすると各地区の代表が意見を言うような雰囲気になったりと、しゃべりにくい。以前地域の会議に参加した時、上の世代の方がいると、これまでの田舎の常識をかえるような意見やならわしを否定するようなことは言いにくく、なかなか本音が言えない場面もあった。世代別で話す機会があっても。

- まちづくり交流会などでは、小グループに分かれて意見交流するなど、参加者誰もが口を開ける場を設ける。
- 三次市の各支援センターで座談会等のイベントを開き、三次での子育てで困ることや近隣の市町の実組でいいと思ったことを交流するなど、子育て真っ最中の人から意見を聞く。
- 意見交流会に人を集めるのではなく人の集まる場所へ行って聞くのもよいのでは。庄原市の高町では、保育所の保護者が、小学校の現在の人数や今後の推移について、庄原市から説明を聞いたらしい。今すぐ統合という話ではないが、事前に説明をすることで、子ども未来について考える機会となり、統合の必要性も感じたと知り合いが話していた。もう行われているかも知れないが、今後複式になる可能性がある地域やすでに複式学級のある学校周辺の未就学児の保護者向けに、学校の現状や未来の統合などの可能性について市の方から説明することで、学校のあり方について意見するいい機会になると思う。
- ピオネットを活用した宣伝
- アンケート
- 意見が述べやすい匿名でのアンケート形式
- 意見が言いやすくなるようなディスカッションできる場、機会をもうける
- 自治連合をもっと使って意見を集約したら良いと思う。
- 市広報・ケーブルテレビ・地域懇談会・議会・各種大会等"
- 少人数の集まりで説明を受けて意見交換する
- 市民主催のイベントでアンケートをとる(アンケートに答えた人は特典をもらえる)
- 市のそれぞれの窓口にて、その窓口に来た市民に、それぞれの窓口に関係のある内容のアン

ケートに答えてもらう

- 市議会議員の方々とお話できる会に参加したことがあるのですが、少し堅い雰囲気でした。
市議会議員の方々とお話できる会だけではなく、他のイベントも、もっと気軽に参加できるような会だと、20代から40代の若い世代が参加しやすくなるのかなと思いました。(例)会館ではなくカフェでお茶を飲みながら座談会をする、(例)子連れOKの子育て関連の内容の座談会、乳幼児の子育ての悩み、フリーランスで困っていること、20代で集まろう、のような少し狭いテーマを設定をすれば人が集まりやすいのかなと思いました。スポーツ系の内容であれば、前半はスポーツをして、後半は座談会にする、というのも思い浮かびました。
- 討論会や報告会などのアナログの要素にプラスして、今回のようなアンケートの定期的な実施、公式LINEの活用などのデジタル要素も入れることで、多くの声が収集出来ると思います。
- 意見交換の会合を会場で開催と同時にzoomも繋いだらどうか。子育て世代の自分は参加するところからハードルが高く困難さを感じる。会場に行ける人は行く。難しい家庭はzoomから参加する。発言が恥ずかしかったり抵抗がある人はzoomのチャットから意見を投稿できるようにする。この方法なら小さい子がいる家庭でも耳だけでも参加出来そうだしハードルも低く感じる。また、三次市のLINEで定期的なアンケートをしたりして意見を集ったり周知に役立てるとか。
- 確定申告等、手続きに窓口へ訪れたときに一緒に伝えられればと思います。
お休みが平日の方たちばかりではないので、月1でも土曜日に対応をしていただけると参加して下さる方が増えるのではないのでしょうか。
- パブコメなどでの意見徴収。
説明会などでも良いと思うが、ほとんどが平日昼間で、現役世代は有休を取ってまで参加できない。土日開催はほとんど無い。
- 集会や説明会の場で意見を言えと云われても、誰でも思ったことを人前で発言することは、なかなか出来ません。こうしたアンケートの回答に出来るだけ多くの選択肢を提供するか、

市の職員さんが各地域に出て行って、10人以下の小さなグループと意見交換するのが実効性のある方法かと。

○ SNS

- 常会単位等小さな範囲のほうが市民個々の意見を挙げ易い。

しかし今の十日市は隣近所の繋がりが希薄過ぎる。

地域の繋がりがいかに大切か三次市として皆さんに伝えて欲しい。

地域の繋がりが無いのにまちづくりは出来ないと思います。

- 広報三次などの情報誌にアンケートフォームの QR コードやハガキなどを同封して意見をつ
のる場を設け、その意見に対する返答もそのような広報誌などで発信する。

- 三次市のイベントで、市長や議員と直接話が出来たらもっと三次市に何が必要か解ると思う。

たとえば、さくら祭の前夜祭を開いて一部にはなるが市民トークしてみたらどうかな?お忙しい方ばかりだから 出来る範囲で

- オンラインでのアンケート、気軽にスマホで回答が出来ることが望ましい

- 事業の計画段階等で市民の賛否を問う事が出来る、このアンケートのように手軽に参加出来る WEB 意見箱があれば良いなと思います。

- 三次市公募毎月配られてる広報みよしに、アンケートとか皆さんの声を集めて決めたり出来たら良いなと思ってます。

- 市の主催する様々な説明会に出席するのは敷居が高いと感じます。自治会の主催する様々な催しでアンケートを取ると良いと思います。

- 基本的な設計をホームページや SNS 等に掲載してから、それに対する考えや思いを書き込めるようにする

- 会議に参加したり郵送したりしないでも、スマホで簡単に意見を言える機会

- 各地域ごとに話し合いの場を設けて意見交流できればと思います。

- 意見を聞く調査またはアンケートを LINE 等で流し、意見を募る。(規定様式への記載などは負担になり、意見が出しにくいのでフリー記載が良いと思う)